

2024年度前期 白鷗大学公開講座

| 講座No. | 講座名 | 学習内容 | 教員 | 日程 | 時間 |
|-------|--|---|-------|--------------|-------------|
| ① | 南島素描2024春 | 講座担当者は2023年度末までに、八重山、宮古、沖縄本島、奄美大島におけるフィールドワークを積み重ねてきた。その成果を紹介しつつ、琉球シャーマニズムの現在(いま)について、みなさんと考えてみたい。 | 齋藤 正憲 | 5月13日 (月) | 16:20-17:50 |
| ② | 学び直し・詳説世界史01 | 【人類の誕生と新石器革命】 人類の故郷(ふるさと)はどこか? 人類は何故、狩猟採集から農耕牧畜へと移行したのか? 人類史の黎明に目を凝らしたい。 | 齋藤 正憲 | 5月20日 (月) | 16:20-17:50 |
| ③ | 学び直し・詳説世界史02 | 【絢爛たる古代オリエント文明】 農耕が安定し、社会的分業を成し遂げた人類は、ピラミッドやジグザッドなど、現在なお色褪せることのない金字塔を打ち立てた。古代文明の盛衰を概観し、その本質を把握したい。 | 齋藤 正憲 | 5月27日 (月) | 16:20-17:50 |
| ④ | 学び直し・詳説世界史03 | 【民主政の萌芽: 古代ギリシアと古代ローマ】 中央集権が強く指向された古代において、ギリシアとローマ(前半)だけが民主政を揺籃できた。どうしてだろうか? 稀有な実像とその理由に迫りたい。 | 齋藤 正憲 | 6月3日 (月) | 16:20-17:50 |
| ⑤ | 学び直し・詳説世界史04 | 【フランク王国の盛衰】 フランク王国の歴史を中心に、西ヨーロッパ中世史の流れを確認する。その際、封建体制を決定づけたローマ教皇の権威隆盛について考察したい。 | 齋藤 正憲 | 6月10日 (月) | 16:20-17:50 |
| ⑥ | 学び直し・詳説世界史05 | 【東方世界の形成: ビザンツ帝国】 西ローマ帝国の滅亡を尻目に、1000年以上の歴史をつないだ東ローマ帝国(ビザンツ帝国)を扱う。対イスラームの防波堤でありつづけたその時間は、独自の東方世界を紡ぎ出すには十分であった。 | 齋藤 正憲 | 6月17日 (月) | 16:20-17:50 |
| ⑦ | 学び直し・詳説世界史06 | 【十字軍遠征と絶対主義国家の成立】 およそ200年にわたって派遣された十字軍遠征は、まったくの徒労に終わった。一方で、閉塞的な封建社会は解体され、ヨーロッパ世界は新たな歴史へと胎動したのである。 | 齋藤 正憲 | 閉講 | |
| ⑧ | 学び直し・詳説世界史07 | 【ルネサンス・宗教改革と大航海時代】 ルネサンス・宗教改革はまさに、思想の革命であった。合理的思考を自家薬籠中のものとしたヨーロッパ列強は、世界を席卷したのである。 | 齋藤 正憲 | 閉講 | |
| ⑨ | 学び直し・詳説世界史08 | 【市民革命の時代】 産業革命は新しい階層(労働者)を生み、社会の構造を変えた。各地で市民革命が起こり、それにより、近代社会が成立した。新たに生まれた社会構造は現代にまで直結するものであり、その探求が意義深いことは疑いがないであろう。 | 齋藤 正憲 | 閉講 | |
| ⑩ | 学び直し・詳説世界史09 | 【忍び寄る第一次世界大戦】 市民社会の成立は、民族運動を惹起するものであった。ヨーロッパの複雑な国際関係と相俟って、世界を二分する紛争を招来し、世界は戦争の世紀に突入する。 | 齋藤 正憲 | 閉講 | |
| ⑪ | 税について考える(第1回) 不公平な税制にはどのようなものがあるのか | 不公平な税制について考えます。宗教法人への課税、超高所得者や大企業に有利な税制(1億円の壁、租税特別措置、大企業の中小企業成り)、税逃れの海外逃避(租税回避)などを取り上げます。 | 藤井 亮二 | 6月26日 (水) | 10:40-12:10 |
| ⑫ | 税について考える(第2回) 財源不足で社会保障はどうなるのか | 年金、医療、介護には国の予算がたくさん使われています。一方、国の借金が増えて社会保障関係費が抑えられようとしています。厳しい財政状況の中で社会保障制度がどうなっていくかを考えましょう。 | 藤井 亮二 | 7月10日 (水) | 10:40-12:10 |
| ⑬ | 税について考える(第3回) 地方税に見る地方の独自性 | 私たちは住民税・固定資産税などの地方税を納めています。地方自治体はワンルームマンション税(東京都豊島区)や別荘等所有税(熱海市)などの独自の地方税も集めています。こうした独自の地方税について活用策や課題を考えます。 | 藤井 亮二 | 7月24日 (水) | 10:40-12:10 |
| ⑭ | 映画の中の司法イメージ(「12人の怒れる男」と陪審制度、裁判員制度)(第1回) | 映画のテーマには様々なものがありますが、法律や裁判に焦点を当てている映画も多くあります。本講座では、映画を素材として、その中で描かれている法律や裁判について考察します。受講者には事前に映画を観て頂くことをお願いします。第1回目は映画を通して陪審制度と裁判員制度について考えます。「12人の怒れる男」(シドニー・ルメット監督1957年アメリカ) | 平山 真理 | 6月13日 (木) | 13:00-14:30 |
| ⑮ | 映画の中の司法イメージ(「それでもボクはやってない」を通して考える日本の刑事裁判、えん罪問題)(第2回) | 第2回目は「それでもボクはやってない」(周防正行監督2007年日本)を通して、わが国の刑事裁判が抱える問題について考えます。 | 平山 真理 | 7月18日 (木) | 13:00-14:30 |
| ⑯ | 国語の読解力と法律の解釈 | 憲法と刑法を素材に、社会の現実と法律・裁判例などを総合し、世の中の結論がどう導かれるかを読み解く力を養いましょう。 | 清水 晴生 | 7月24日 (水) | 13:00-14:30 |

| 講座No. | 講座名 | 学習内容 | 教員 | 日程 | 時間 |
|-------|-------------------------------|---|-------|--------------|-------------|
| ⑰ | 動物（ペット）と民法 | 多くの人にとって身近な存在であるペットと民法は様々な面で関わりがあります。この講座では、飼っているペットが他人を傷つけた場合やトリミングに連れて行ったらケガをして帰ってきた場合等について実際の裁判例を用いながらどのような解決が図られているかについて学びます。 | 川上 生馬 | 7月8日 (月) | 10:40-12:10 |
| ⑱ | 「学童保育」における児童の発達段階・発達過程の理解 | 学童保育は、児童の発達を保障する場でもあります。発達段階と発達過程の2つの視点から、児童の発達の姿を考えてみましょう。 | 伊勢 正明 | 5月20日 (月) | 9:30-11:00 |
| ⑲ | 「学童保育」における生活援助実践の展開 | 学童保育の利用は、異なる生活背景の児童同士の関わり合いを生じ、生活の質の向上に繋がります。適切な援助方法を具体的に考えてみましょう。 | 伊勢 正明 | 6月17日 (月) | 9:30-11:00 |
| ⑳ | 「学童保育」における要支援児への支援 | 学童保育でも要支援児への対応は重要です。特別な支援が必要な児童への援助方法や関わり方について考えてみましょう。 | 伊勢 正明 | 7月22日 (月) | 9:30-11:00 |
| ㉑ | 特別支援教育と「特別支援保育」の違い | 特別支援教育の就学前版が「特別支援保育」と思っていませんか？この時間は、両者の関係を整理し直して、特別支援保育の独自性を考えます。 | 伊勢 正明 | 5月30日 (木) | 18:00-19:30 |
| ㉒ | 特別な支援を必要とする乳幼児を理解するための保育臨床の視点 | 「保育臨床」は、問題を抱える乳幼児への援助技法と理解されがちです。この時間は、保育臨床本来の乳幼児の姿を見取る姿勢や視点を考えます。 | 伊勢 正明 | 6月27日 (木) | 18:00-19:30 |
| ㉓ | 医療的ケア児と特別支援保育 | 「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」の施行から約3年になります。医療的ケアと特別支援保育との関係を考えます。 | 伊勢 正明 | 7月25日 (木) | 18:00-19:30 |

【お申し込み方法】

メールまたはファックスにて〈可能な限りメールにてお願いいたします〉

以下の内容を明記してください。

①受講を希望する講座No.と講座名（お一人様何講座でも申し込めます。）

※注意※正確な講座名をご記入ください。

②氏名(フリガナ) ③〒・住所 ④連絡先の電話番号・FAX番号

⑤一般か卒業生かをご記入ください。

(本学卒業生の場合は卒業学部・学科、在学中と姓が変わった方は旧姓もご記入ください。)

★申し込み締切は各講座の開講1週間前までとなります。

【お申し込み先】

メール：chiikikouza@ad.hakuoh.ac.jp

ファックス：0285-20-8104 公開講座係

〒323-8586 小山市駅東通り2-2-2 白鷗大学 地域連携サポートセンター 公開講座係

【受講料】 1講座90分：500円(税込)

希望者が5名に満たない場合は、開講を中止しますのであらかじめご了承ください。

メール等の申し込みが到着し、それぞれの講座が、5名以上となった状況で開講決定です。

決定後、メール（電話）にてご連絡いたします。

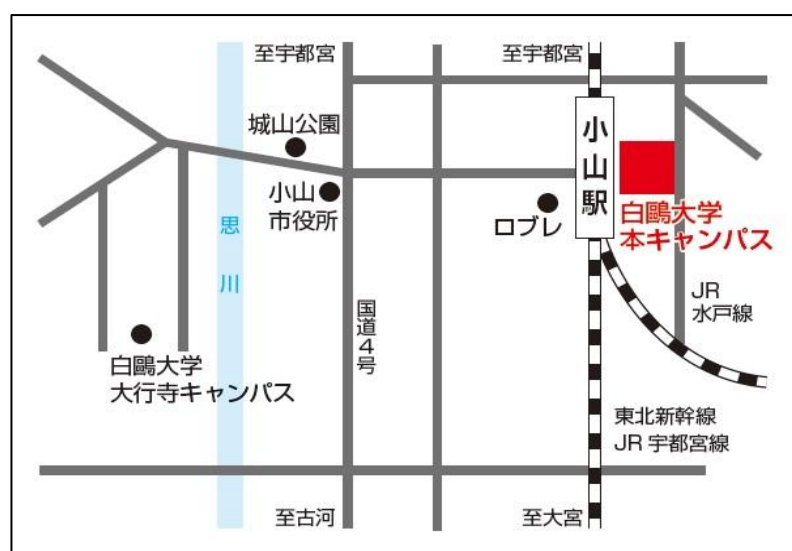
開講までに受講料のお支払いをお願いします。

一旦お支払いいただいた受講料は返金いたしかねます。

【教室について】

教室は受講日当日にキャンパス内掲示にてお知らせいたします。

※全講座本キャンパスでの開講予定です。



本キャンパス

小山市駅東通り2-2-2 (JR小山駅東口前)

【お問合せ先】

白鷗大学 地域連携サポートセンター

直通電話 0285-20-8114 (平日のみ9:00~16:30)

本学教職員・学生は無料で受講できます。お申し込みは、本キャンパス4階地域連携サポートセンターへ。